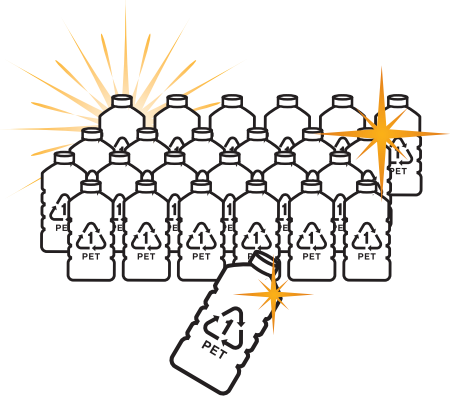


リサイクルの基本 ~家庭ごみを資源にする習慣づくり~

PETボトル

たくさん種類のあるプラスチックから♻️のPETをゲット!!!
PETボトルはリサイクルの優等生—もつともつと集めれば
リサイクルにより貴重な石油を有効に節減できるのです。



1. ♻️ PETボトルを分けて出す
2. キャップをはずし、ラベルをはがす
3. 軽くゆすいで、水切りをする
4. 横につぶして

1. ♻️ PETボトルを分けて出す

G1



- PETボトルリサイクルの目印は♻️このマーク！
再利用するには、キッチンと分別することが大切です。
- PETボトルの形をしていても♻️マークが無いものは、出さないで下さい。
*地域の回収拠点のルールに合わせて出して下さい。
- 清涼飲料水、しょうゆ、酒類、乳飲料や、めんつゆやノンオイルドレッシングの調味料等の容器で♻️マークのあるものを出して下さい。

G2

- ♻️の識別マークが付いたPETボトルは、指定PETボトルと呼ばれ、分別収集の対象となっています。
- この指定PETボトルは、清涼飲料・特定調味料・酒類・の食品用で、リサイクルに支障がない内容物が詰められたボトルに限定されています。
- PET樹脂から作られた指定PETボトルは単一素材なので集めやすく、中身の影響を受けずに容易に高度なリサイクルができることから、他のプラスチック製容器包装としっかり分けて収集することが重要となります。
- PETボトルは2つの方法でリサイクルされています。
 - ◆マテリアルリサイクル：卵パックやプリスターパック等のシート製品、自動車の内装材、カーペット類、各種衣料、土木・建築資材などの繊維製品、梱包バンド、ごみ袋、各種文房具などに再生されています。
 - ◆ケミカルリサイクル：PETボトルを化学的に分解して原料物質に戻し、それから再びPET樹脂を作る方法で、分解および精製の過程で異物が除去されるので石油から新たに作ったものと同様な食品用樹脂が得られます。2004年3月よりボトルtoボトルとして指定PETボトルに再生されています。
- マテリアルリサイクルの用途となる繊維やシート等は、同じPET樹脂からできており、リサイクルされた再生品はPET樹脂の代わりに使用されるため、石油資源の節約になり、CO2も削減できます。

2. キャップをはずし、ラベルをはがす

G1



- 中身を空にする。
- キャップとラベルはプラスチック製容器包装です。
- 取りはずしにくい「しょうゆ」ボトルの中栓や、キャップをはずした後に残るリングなどは無理に取る必要はありません。
- ラベルにはプラスチック製容器包装と紙製のものがあります。

*プラスチックの回収をしていない地域では、回収拠点のルールに合わせて下さい。